

読売新聞ポータルサイトと連動の「Chuo Online」 注目の「オピニオン」は毎週月曜更新

「YOMIURI ONLINE」と連動した「Chuo Online」を2009年12月に開設しました。毎週2回以上の更新で、日・英両言語でコンテンツを配信しています。

月曜日配信の「オピニオン」では、本学教員が時事問題などをテーマに独自の視点から鋭く、わかりやすく解説し、これまでに多いときでは一週間に4万件を超えるアクセス数がありました。今後は「研究」の更新を毎月2回に増やし、積極的に発信する予定です。

Webの特長を活かし、『Hakumon ちゅうおう』のほか『学员時報』、『草のみどり』、『知の回廊』の映像とも連動させることで、学内広報媒体とのクロスメディアを可能にしています。

また、「Chuo Online」をきっかけとした取材依頼もこれまでに多数寄せられ

ており、メディアがメディアを招く注目のサイトになっています。

オピニオン(日本語版)で反響の大きかったテーマ(2010年4月末現在)

『1Q84』騒動の背後にある恐ろしさ	文学部教授 宇佐美 毅
プリウス(トヨタ自動車)のブレーキ不具合は「欠陥」か?	総合政策学部教授 平野 晋
外国人の選挙権導入は憲法に違反する	法学部教授 長尾 一紘
郵政民営化の見直しは本当に必要なのか	ロースクール教授 野村 修也
もうすぐ商店街の時代が来る。準備せよ	総合政策学部教授 細野 助博
日本は明治維新後第3回目の革新サイクルに入ろうとしている。元研究開発機構教授 丹保 憲仁	
金融危機の震源地米国では今	アカウンティングスクール教授 鈴木 一功
ビジネスパーソンのためのMBA	ビジネススクール客員教授 勝間 和代
ベンチャービジネスは日本の伝統となるか	商学部教授 秋澤 光
「人間とは何か」を撮る—大学でなぜ番組制作を教えるのか?	総合政策学部教授 松野 良一

「Chuo Online」…www.yomiuri.co.jp/adv/chuo

(過去の記事は一覧からご覧ください)

本学創設者、土方寧の記念碑が生誕地高知県に建立

■ 英吉利法律学校創設と土方寧

英吉利法律学校の創設者は18人。そのなかで土方寧はあまり注目されてこなかったようです。土方は、尊王攘夷の志士を数多く輩出した土佐の佐川に生まれ、維新後に上京して東京大学に入学しました。卒業後、文部省御用掛を経て東京大学助教授に抜擢されます。同時期、条約改正が国家的課題とされ、司法権を取り戻すための裁判官や弁護士育成が急務となっていました。

明治18年の英吉利法律学校の創設では、18人の若き法学者が結集し、法学教育に全力をあげました。初代校長は、バリエスター(法廷弁護士)の資格を持った増島六一郎。東京大学法学部長の穂積

陳重も英吉利法律学校の創設に名を連ね、協力しました。そして、東奔西走する穂積をささえたのが土方寧でした。土方の講座は「英国流通證書法」「売買法」など。土方は英吉利法律学校とその後の東京法学院・東京法学院大学・中央大学で教壇に立っています。土方は東京帝国大学法科大学長にもなりますが、中央大学で教員あるいは役員として重責を担い続けたのでした。

■ 土方寧法学博士 生誕150年の記念会

2010年3月27日、土方寧が生まれ育った佐川で博士の生誕150年記念会が開催されました。主催は、高知県高岡郡の佐川町。記念会には土方寧の孫の川

崎文子さん、曾孫の土方健男さんが招かれています。

当日は午後1時30分から、土方寧法学博士生誕地頌徳碑の除幕式典が青山文庫の庭園で執り行われました。頌徳碑の建立は中央大学学会の高知県支部です。佐川町の青山文庫は、土方家の跡地に伯爵田中光顕が建設した記念館で、土方家時代の庭園が残されていました。青山文庫では、式典にあわせて「土方博士遺品・遺墨特別展」が開催されました。土方寧の書や尺牘を中心に、土方夫妻の写真さらには寧の父直行、養子成美の資料が展示されました。養子の土方成美は著名な経済学者で、東京大学経済学部を辞職した後、主に中央大学で教鞭を取り、経済学部長などを歴任しました。

続いて、土方寧の菩提寺の青源寺で、特別講演会の松尾正人文学部教授「中央大学の創設と土方寧」が実施されました。参加者は60名余。その後、青源寺土方家墓地に関係者が集まり、土方家先祖の墓前祭が執り行われました。午後5時から土方博士頌徳碑建立記念祝賀会が催され、学会高知県支部の関係者が中心となって多数の学员が出席し、大変な盛況でした。



除幕式に参列の理工学部 加賀野井秀一教授(左)と文学部 松尾正人教授(右)

